

演題名	地域の課題に対応した生乳検査の検討と評価		
発表者 氏名	中島 博美	所属	伊那家畜保健衛生所
<p>マイコプラズマ性乳房炎侵入の危惧、黄色ブドウ球菌(SA)による生産性阻害、HACCP導入に係るモニタリング・検証方法等、管内酪農における課題に対応するため、生乳検査のシステム化を検討。①搾乳立会による搾乳手順と機器のチェック、②バルク乳検査による農場毎の問題点把握、③SA分離農場での全頭の細菌および体細胞数測定、④抗酸菌を含む乾乳期の乳房炎検査、⑤酪農現場におけるATPテスターの応用を主な柱として展開。バルク乳検査は <i>Mycoplasma bovis</i>(本県初分離)や <i>Prototheca</i> が関与した乳房炎多発農家および搾乳機器の不良により <i>Serratia</i> 属菌に起因した生乳汚染農家の摘発など、農場の問題点が顕在化できる検査として有用。また、生乳中 SA 菌数と体細胞数がリンクしない個体もあり、SA 保菌牛の確認には全頭検査が必要であることが示唆。なお、ATP 値によるリニアスコアのカットオフ値を設定するなど ATP テスターの HACCP への応用を可能とした。</p>			